

### 3. 報告事項

#### (1) 会員の交代等について

##### 【会員の交代】

- ・ 一社) 砂川青年会議所 池内一也 → 同 佐藤大将
- ・ 砂川商工会議所青年部 前田秀樹 → 同 住亮太郎
- ・ 砂川商店会連合会 中村和弘 → 同 池内一也

##### 【部会長の交代】

- ・ 情報宣伝部会長 一社) 砂川青年会議所 池内一也 → 同 齊藤邦宏
- ・ 受入体制部会長 砂川商工会議所青年部 前田秀紀 → 同 田村英規
- ・ 生活支援部会長 砂川商店会連合会 中村和弘 → 同 池内一也

○すながわ移住定住促進協議会 役員及び会員名簿

(平成31年4月1日現在)

	役職	部会	氏名	職業	所属団体	役職
1	会長		北谷 武文	サンワ産業(株)	宅地建物取引業者	
2	副会長	生活支援部会	岡本 昌昭		砂川市町内会連合会	副会長
3	部会長	情報宣伝部会	齊藤 邦宏	(有)空知損害保険会社	一社)砂川青年会議所	直前理事長
4	//	受入体制部会	田村 英規	田村興業(有)	砂川商工会議所青年部	会長
5	//	生活支援部会	池内 一也	(有)池内商店	砂川商店会連合会	事務局長
6	会員	情報宣伝部会	佐藤 大将	(有)佐藤塗装店	一社)砂川青年会議所	理事長
7	//	//	住 亮太郎	(有)池川生花店	砂川商工会議所青年部	副会長
8	//	//	山下 克己	砂川観光協会	砂川観光協会	事務局長
9	//	受入体制部会	小田 繁喜	水島建設工業(株)	建設業者	
10	//	//	澤崎 賢司	(株)サワケン	宅地建物取引業者	代表取締役
11	//	//	奥山 一枝	農業	すながわスイートロード協議会	企画部会
12	//	//	多比良和伸	タヒラ・デンタルクリエーション	すながわスイートロード協議会	企画部会
13	//	生活支援部会	田中 聡秀	田中旅館	砂川旅館組合	副組合長
14		情報宣伝部会 受入体制部会	為国 修一	砂川市役所	商工労働観光課 土地開発公社 業務課	課長
15	//	情報宣伝部会	奥山 雅喜	//	商工労働観光課 商工観光係	課長補佐兼係長
16	//	受入体制部会	青野 英樹	//	土地開発公社 業務課管理係	係長
17	//	//	金丸 秀樹	//	建築住宅課	課長
18	//	//	渋谷 正人	//	建築住宅課 建築指導係	副審議監兼係長
19	//	//	中村 洋	//	建築住宅課 住生活支援係	係長
20	//	//	野田 勉	//	農政課	課長補佐

砂川市

事務局	熊崎 一弘	砂川市役所		総務部長
//	井上 守	砂川市役所	政策調整課	課長
//	谷地 雄樹	砂川市役所	政策調整課企画調整係	係長
//	藤田 美穂	砂川市役所	政策調整課企画調整係	主任
//	佐久間直也	砂川市役所	政策調整課企画調整係	地域おこし協力隊

## (2) 平成 30 年度活動報告について

### 【会議関係】

月 日	事業名等	備考
30.4.17	第 1 回すながわ移住定住促進協議会	30 年度事業計画の決定、事業開始
5.28	北海道移住促進協議会 総会、NPO 住んで みたい北海道推進会議第 1 回勉強会	事務局出席 30 年度事業計画等
9.25	NPO 住んでみたい北海道推進会議第 2 回 勉強会	事務局出席 北海道新聞社活動報告について、郡上・ ふるさと定住機構の取組について等
12.13	北海道移住促進協議会連絡会議、NPO 住ん でみたい北海道推進会議第 3 回勉強会	事務局出席 31 年度取り組みの方向性等
31.3.6	空知総合振興局移住・定住推進連絡会議	北海道及び空知総合振興局の移住・定住施策の概要、 取組事例の紹介について
3.26	第 1 回生活支援部会	平成 31 年度事業計画（案）について
3.29	第 1 回情報宣伝部会	//
3.29	第 1 回受入体制部会	//

### 【事業関係】

月 日	事業名等	備考
30. 4.1	すながわお試し暮らし事業開始	
4.6	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	平成 29 年度下半年活動報告
4.17	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	平成 30 年度上半期活動（平成 30 年度第 1 回すなが わ移住定住促進協議会について）
5.1	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	民間中古住宅募集について
5.18	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用
5.25	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用
5.31	移住パンフ配置	北洋銀行中核 9 支店（札幌）
6.1	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	暮らし相談会・本気の移住相談会について
6.23	砂川市暮らし相談会開催（東京）	相談コーナー設置、移住パンフ・ポケットティッシュ 等配布
6.24	本気の移住相談会出展（東京）	市町村相談コーナー：移住パンフ・ポケットティッシ ュ等配布
7.17	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	市内企業情報掲載開始
7.29	移住パンフ配布	北海道日本ハムファイターズ応援大使市町村 PR ブー ス・なまらうまいっしょグランプリ
7.30	移住パンフ配置	札幌サマーパーティー
7.31	移住パンフ配布	そらち・デ・ビューフェア in 札幌
8.1	移住パンフ配布	ことりっぷパンフレット請求者へ
8.17	移住パンフ配置	北海道 U I ターンフェア
9.20	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用
9.25	移住パンフ配置	北海道暮らしフェア
9.26	移住パンフ配置	北洋銀行中核 9 支店（札幌）
10.29	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用
11.29	移住パンフ配置	北洋銀行中核 9 支店（札幌）

月 日	事業名等	備考
12.18	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用
12.18	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	移住体験談（児島さんご夫婦）
12.28	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	冬期移住体験モニター参加者募集
31.1.8	移住パンフ配置	JOIN 移住・交流&地域おこしフェア 2019（東京）
1.29	移住パンフ配置	北洋銀行中核 9 支店（札幌）
2.1	冬期移住体験モニター事業開始	
2.8	平成 31 年度（2019 年度）お試し暮らし 一次募集周知依頼等	北海道移住協議会（HP、メールマガジン掲載）、北 海道地域政策課メールマガジン掲載、各種 HP 更新
2.15	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	平成 31 年度（2019 年度）お試し暮らし一次募集
3.5	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	平成 31 年度（2019 年度）お試し暮らし二次募集（通 常受付）開始
3.14	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	空き状況カレンダー更新
3.22	移住パンフ配置	北洋銀行中核 9 支店（札幌）

※その他、地域おこし協力隊Facebook 投稿記事 157件（H30.4.1～H31.3.20現在）

#### 【すながわ情報メール関係】

配信日	配信内容
30.4.27	春の訪れ、平成 30 年度第 1 回すながわ移住定住促進協議会について
5.2	桜が咲きました、子どもの国フェスティバルについて
6.14	暮らし相談会開催・本気の移住相談会出展のお知らせ
7.13	暮らし相談会開催&本気の移住相談会のお礼&当日の報告
7.30	そらちデ・ビューフェア in 札幌チカホ・女子旅ご褒美モニターツアーのお知らせ
8.9	そらちデ・ビューフェア in 札幌チカホ報告&お試し暮らし交流会（6月）報告
9.4	東京砂川会総会のご案内
10.5	お試し暮らし交流会（パークゴルフ）について
10.12	北海道移住まるごと体験モニターの募集について
10.25	インターンシップ（企業訪問）について
11.9	福岡県からの移住者について
12.14	ふるさと納税について
12.19	平成 30 年振り返り（前編）
12.26	平成 30 年振り返り（後編）
31.1.18	年始の挨拶、ニセコ町視察について
1.25	冬の楽しみ方、冬期モニター決定について
2.7	冬期モニター参加者の紹介、地域おこし協力隊の募集について
2.15	平成 31 年度（2019 年度）お試し暮らし一次募集予告について
2.22	冬期モニターの紹介について
3.8	お試し暮らし 1 次募集終了のお知らせ、お試し暮らし二次募集（通常受付）開始、冬期移住体験モ ニター報告

#### ▼「砂川市暮らし相談会」開催について

日 時 平成 30 年 6 月 23 日（土） 13:00～18:00  
場 所 東京交通会館 8 階 どさんこ交流テラス（東京）  
来場者数 1 組（アンケート回収、情報メール登録）  
参加者 情報宣伝部会 池内一也部会長、企画調整係主事 藤田美穂、  
同地域おこし協力隊 佐久間直也

内 容 本事業は昨年度に引き続き、「本気の移住相談会」の前日に開催しました。普段は北海道全体の相談窓口であるどさんこ交流テラスにおいて、事前に相談予約を北海道移住支援員に受け付けていただき、また、普段窓口に来られる移住希望者に対して、移住支援員から直接本相談会の PR をしていただきました。当日は 1 組のご夫婦に来場いただき、北海道への移住に関する相談を受け付けました。

来場者数は 1 組と少なかったものの、来場者がこれまでも様々な移住関連の相談会に参加するなど具体的な活動を行っていること、ご夫婦 2 人ともどんなことを聞きたいのか事前に考えて来られていたことから、移住に対する真剣度の高さが感じられました。「すながわ情報メール」の登録もしてくださり、その後も定期的に情報発信を行っています



【相談を受ける池内部会長と佐久間隊員】



【武田議員も参加していただきました】

#### ○課題

- ・来場者が 1 組と少なかったものの、相談時間も長く、移住を真剣に考えていることが伺えました。また、来場者は農業に関心があるとのことでした。「仕事」に関する情報は前年度から強化していましたが、今後も市内企業に関する情報から農業・起業に関する情報まで、継続的に収集を行い、来場者がどんな仕事を希望した場合でも対応できるよう、情報内容を充実させていくことが必要と考えます。

#### ▼「本気の移住相談会」開催について

日 時 平成 30 年 6 月 24 日（日） 10:30～16:30  
場 所 東京交通会館 12 階 カトリアサロン A（東京）  
参加市町 砂川市を含む 44 自治体 10 企業  
来場者数 197 組 311 名（砂川市事前予約 11 組）  
参加者 情報宣伝部会 池内一也部会長、企画調整係主事 藤田美穂、

内 容 会場内の砂川市相談コーナーにおいて、予約組数より2組多い、13組の来場がありました。その内、12組の方にアンケートを記入いただき、6組の方から「すながわ情報メール」の登録を受けました。

20代の大学生から現役世代、また、70代のシニア世代と幅広い世代が来場し、特に20代から40代の現役世代は移住後の「仕事」に関心が高かったのが印象的でした。「仕事」の面については、就農や起業を検討している来場者から、薬剤師や介護職など専門職に就いている来場者もあり、様々な分野の仕事が挙げられました。今年度は、市内企業の情報をまとめて持参しましたが、そちらを実際にご覧になり、給与情報などを参考にされている方もいらっしゃいました。「仕事」のほかには、やはり「冬の生活」についての質問が多く寄せられました。「雪がどれくらい積もるのか」、「暖房費は月にどれくらいかかるのか」など、生活する上での具其他的な質問もあり、北海道への移住を検討する際にほとんどの方が「冬の生活」の心配をされているということを改めて実感しました。



【本気の移住相談会会場の様子】



【砂川市相談コーナーの様子】

#### ○課題

- 本相談会では半数以上の方が情報メールを登録してくださり、その後の接触にもつながることができていることから、ニーズのあった情報について、定期的に発信していくことが必要と考えます。
- 仕事情報については、市内企業情報を収集するなどして強化しましたが、今後も市内企業に関する情報から農業・起業に関する情報まで、継続的に収集を行い、来場者がどんな仕事を希望した場合でも対応できるよう、情報内容を充実させていくことが必要と考えます。

#### ▼「すながわ お試し暮らし」冬期移住体験モニター事業について

実施期間 平成31年2月1日（金）～2月28日（木）

内 容 本事業は、お試しハウスの冬期間の利用促進および積雪地で冬の生活を体験したことの無い移住希望者が持つ不安や抵抗感を解消することを目的に、各種 Web 媒体を活用した情報発信を通して、体験者に砂川市での冬の生活体験の様子を発信していただくといった内容で、平成29年度に



引き続き、平成 30 年度も体験者の募集を行いました。平成 29 年度は、道外から 2 組の申込み、道内企業から 1 件の問い合わせがありました。申込者の都合により、実施には至りませんでした。平成 30 年度は、1 件の申込みがあり、申込者の SNS 等における情報発信力が高いことから、実施を決定し、平成 31 年 2 月 1 日から 2 月 28 日までの 1 ヶ月間、事業を実施しました。

体験者は千葉県船橋市にお住まいの H さんで、ご夫婦で参加をいただきました。職業は Web ライターをされています。夏の北海道には 10 回ほど来られていますが、冬の北海道での長期生活は初めてということで、「お試しハウスよしの」に滞在しながら北海道の冬の生活を体験していただきました。

滞在中は、オアシスパークでのワカサギ釣りや、歩くスキー教室への参加、スノーモービル体験など様々なことにチャレンジしていただき、その様子を SNS 等でリアルタイムに掲載していただきました。その他にも、除雪の様子や北海道の住宅で一般的に使用されているストーブの紹介などを動画で撮影し、道外に住む北海道の冬を知らない方に対して具体的に情報を発信していただきました。また、昨年砂川へ移住された児島さんご夫婦も積極的に H さんと交流を図ってくださり、ご自宅にも招いてくれたとのことでした。

SNS 等を見た方からは、「砂川市に行ってみたい」などの声も挙がったとのこと、砂川市の PR につなげることが出来ました。



【ワカサギ釣り】



【すながわスイートロード巡り】



【歩くスキー体験】



【スノーモービル体験】

▼「すながわ お試し暮らし」について

平成30年度は11組21名の利用実績でした。滞在中は、協議会会員のご協力のもと利用者との交流会も行われ、砂川の生活を体験するだけではなく、より深く砂川を知っていただく良い機会になっております。

お試し暮らし利用者及び活動内容一覧

番号	名 前	住 所	滞在期間	交 流 会	参 加 者
1	〇様夫妻	京都府城陽市	5/22~6/21	市内案内 交流会（花いたで食事 会）	事務局
2	F様	静岡県浜松市	5/28~6/8		
3	S様夫妻	奈良県葛城市	6/8~6/28	市内案内 交流会は未実施（本人 都合）	—
4	T様夫妻	東京都世田谷区	6/25~7/25	市内案内 交流会（パークゴルフ、 口福厨房で食事 会）	岡本、小田、多比良、 齊藤、金丸、中村、 坂本（野田代理）、 事務局
5	A様	兵庫県三田市	7/2~7/10	市内案内 交流会は未実施（短期）	—
6	〇様夫妻	和歌山県 和歌山市	7/2~8/9	市内案内 交流会（三谷果樹園で ブルーベリー狩り、ろ くで食事会）	北谷、岡本、多比良、 金丸、野田、事務局
7	T様夫妻	神奈川県 相模原市	8/1~8/31		
8	M様夫妻	兵庫県多可郡 多可町	8/8~8/31	市内案内 交流会は未実施（本人 都合）	—
9	G様夫妻	埼玉県鴻巣市	8/14~9/28	市内案内 交流会は未実施（台風・ 地震のため）	
10	H様夫妻	大阪府堺市	9/4~9/19	市内案内 交流会は未実施（地震 のため）	
11	M様ご家族	大阪府松原市	9/6~9/28	市内案内・交流会未実 施（地震のため）	

（敬称略）



○交流会の様子



【6/1 交流会（花いた）1】



【6/1 交流会（花いた）2】



【7/19 パークゴルフ交流会】



【7/19 昼食交流会（口福厨房）】



【8/2 ブルーベリー狩り交流会1】



【8/2 ブルーベリー狩り交流会2】

○「お試しハウス」声かけ等

協力者 吉野第3町内会のみなさん  
北光第一町内会のみなさん  
友和町内会のみなさん

## 参 考 ～お客様アンケートより（抜粋）～

【北海道のアンケートより】

○「お試し暮らし」を利用された目的などについて。（複数回答）

移住候補地探し … 1      シーズンステイ … 17  
二地域居住地探し … 7      観光として … 3      その他 … 1

○お試し暮らしをどのように知ったか。（複数回答）

インターネット … 11      北海道暮らしフェア … 7  
雑誌 … 1      テレビ … 1      人から聞いて … 8  
パンフレット … 1      その他 … 1

○滞在地の暮らしやすさ（満足度）

大満足 … 8      満足 … 10      普通 … 3

（買い物するにも便利。交通の便が良い。涼しく過ごすことが出来てよかった。食材が新鮮でおいしい。）

○11月～3月の冬期に滞在したいと思うか。

思う … 3      （理由：スキーなど冬のスポーツを体験したい。冬期の生活はどのようなものか知りたい。寒さ・雪の量を知りたい。）

思わない … 16      （理由：寒さと雪が不安。冬道の運転を避けたい。高齢のため厳しい。体力的に自信がない。）

未回答 … 2

○北海道への移住を考えるか。

はい … 24      （完全移住 … 1      時期：1～2年後  
二地域居住 … 6      時期：2年後くらい  
シーズンステイ … 17      時期：来年以降、2～3年後）

いいえ … 1

【砂川市独自アンケートより】

○移住に向けた現在の活動

- ・移住者の受け入れをしている市町村等の情報をインターネット、書籍等を通して入手している … 10
- ・市町村等が主催している移住相談会等のイベントに参加している … 2
- ・複数の地域で「お試し暮らし」制度を利用し、移住先を検討している … 9
- ・特定の市町村等の移住担当者と直接のやり取りをしている … 1
- ・移住先をほぼ決めており、具体的な準備を進めている … 1
- ・移住を考えているが、具体的な活動はしていない … 2

## ○砂川市の印象

- ・公園が多く、のんびり過ごすことが出来る。中高年には過ごしやすいまち。
- ・交通の利便性が良い。
- ・スイーツがおいしい。
- ・市立病院が充実していて驚いた・感動した。
- ・食材が新鮮でおいしかった。（おくやま農園のトマトやきゅうり）

## ○お試し暮らし期間中、印象に残った場所・気に入った場所

- ・オアシスパーク（サイクリングができてよかった、眺めが良く散歩に最適だった）
- ・ハイウェイオアシス
- ・パークゴルフ場（無料で利用できて便利）
- ・おくやま農園（野菜が新鮮でおいしい）

## ○お試し暮らし期間中、印象に残った出来事

- ・7月なのに朝晩ストーブを使うこともあって驚いた。
- ・電動自転車を無料で借りられたこと。SuBACOのみなさんには丁寧に対応してもらった。
- ・食材が新鮮でおいしい。スイーツもおいしかった。

## ○仕事について

就職を考えていない … 13    未回答 … 7  
パート・アルバイト希望 … 1（会社等に勤務）

## ○住まいについて

未回答 … 8

### 【希望する形態】

一戸建て（購入） … 1    一戸建て（賃貸） … 12  
マンション（賃貸） … 4    アパート … 1    公営住宅 … 1

### 【希望する間取り】

1DK・1LDK … 1    2DK・2LDK … 13

### 【希望する地域】

中心市街地 … 5    住宅街 … 6    農業地域 … 1

その他 … 2（どこでもいい、眺めの良い場所）

### 【北海道に住むにあたっての心配・不安】

- ・冬期の生活（自然環境）、地域の人とのコミュニケーション
- ・冬期の移動手段（車の運転が心配）
- ・家の設備が本州と異なる点があると思うが何が異なるか未知であること
- ・車の運転が出来なくなった時の移動手段
- ・冬をたえられる住宅の建設費用の相場
- ・冬の生活、雪はどれくらい降りどのように処理するのか、暖房費

### (3) 砂川市への移住者について

#### ●児島 宏さん・弘子さん（平成 30 年 10 月 福岡県から移住）

##### <経過>

- 平成 29 年 3 月の新年度お試し暮らし 1 次募集でお試し暮らしに「完全移住の候補地探し」を目的として応募。「2～3年で移住先を決めて、出来るだけ早く移住をしたい」という意思が当初からあり、冬の体験も希望。また、交通の利便性が高いことから、お試し暮らし先として砂川市を選択。
- 夏のお試し暮らし期間中にすながわ移住定住促進協議会で開催した交流会では、市内パークゴルフ場でパークゴルフを実施。その後「口福厨房」で昼食交流会を引き続き実施した。協議会メンバーと砂川市に関する会話をし、実際に砂川に住む人の話を聞いたことが、移住を検討する上で非常に参考になったとのこと。



- 夏のお試し暮らし終了後、平成 29 年 10 月に冬のお試し暮らしを申請。申請時には、「移住先は砂川に決めた。冬の生活を体験して支障がないと判断すれば、福岡の家を処分し、出来るだけ早く移住するつもり。移住後の住居は中古住宅を購入してリフォームをしたい。」とのことだった。
- 冬のお試し暮らし期間中には、ワカサギ釣りを体験。また、冬道の運転を不安に思っていたようだったが、期間終了間際には、レンタカーで釧路市に旅行へ行けるほどに。冬に対する恐怖心はお試し暮らしをする前より薄れてよかったとのこと。



- お試しハウスゆうわが 10 月から売りに出されることになったため、平成 30 年 4 月に本人へ情報を提供したところ、購入を決め、砂川市への移住が決まった。

##### <現在>

- 手打ちそば愛好会や歩くスキークラブへ加入し住民と積極的に交流を図っているほか、宏さんは公民館でレコード整理に係るボランティア、弘子さんは図書館で読み聞かせのボランティアを行なっている。

#### 4. 協議事項

##### (1) 役員の改選について

任期満了に伴い、すながわ移住定住促進協議会規約第5条の規定により、会長および副会長を選任する。

会 長 \_\_\_\_\_

副 会 長 \_\_\_\_\_



## すながわ移住定住促進協議会 規約

### (名称)

第1条 本会は、すながわ移住定住促進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 本協議会は、市民や民間団体等と市が協働して砂川市における移住定住の取り組みを円滑に進め、もって砂川市の活性化を図ることを目的とする。

### (取り組み)

第3条 本協議会は、前条の目的を達成するために次の取り組みを行う。

- (1) 情報宣伝活動に関すること
- (2) 受入体制に関すること
- (3) 生活支援に関すること
- (4) その他、移住定住対策に関すること

### (構成)

第4条 本協議会の構成は、本協議会の趣旨に賛同する個人・団体をもって構成する。

### (役員及び任期)

第5条 本協議会に次の役員を置く。但し、任期は2年とし再任は妨げない。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名

### (役員を選出)

第6条 本協議会の役員は、構成団体の中から互選により選出する。

### (運営)

第7条 本協議会は、会長が召集する。

- 2 本協議会には、必要に応じて事業をより深く専門的に調査・検討するための部会を置くことができる。

### (事務局)

第8条 本協議会の事務を処理するため、砂川市総務部政策調整課に事務局を置く。

### (その他)

第9条 この規約で定めのない事項については、協議会で定める。

### 附 則

この規約は、平成19年4月11日から施行する。

この規約は、平成25年4月15日から施行する。



## (2) 平成 31 年度 (2019 年度) 事業計画 (案) について

すながわ移住定住促進協議会では、平成 19 年度の設立以降、ホームページや SNS、パンフレット等を活用した情報発信や、移住相談会への出展および自主事業の実施による市の魅力や住み良さの PR、また、移住希望者が必要とする情報の収集と提供、移住希望者のサポート及び受け入れ環境整備など様々な取り組みを行ってきました。

特に、現在の活動の軸となっている「すながわお試し暮らし」事業は、21 年度の事業開始以来、例年抽選を行うほど多くの申込みをいただいております。30 年度にはお試し暮らしを利用した 1 組 2 名のご夫婦が砂川市へ移住するなど、少しずつではありますが成果が現れてきたところです。31 年度においては、新たに民間中古住宅 1 棟を加える予定とし、3 棟の移住体験住宅を活用した運営とします。

近年ではリタイアしたシニア世代のほかに、20 代～40 代の現役世代でも移住を希望するケースが増加していることから、現役世代向けの子育てや就職・起業に関する情報も含めた各種情報の収集・提供を継続的に行い、幅広い年代に対応できるサポート体制を整えます。そのほか、道外在住の移住希望者の掘り起こしについても、継続的に続けていく必要がありますので、31 年度においても、引き続き首都圏での情報発信事業を実施します。

また、移住希望者にとって「仕事」が重要なポイントであることから、「就業体験付きすながわお試し暮らし」を実施し、現役世代を中心に、利用者には砂川市で就労するイメージを持ってもらい、移住のきっかけ作りとします。

### ▼移住関連予算について

①「お試し暮らし」等経費	2,186 千円
建物等借上料 1,404 千円、消耗品 160 千円、修繕料 121 千円、 手数料 24 千円、火災等保険料 12 千円、光熱水費 43 千円 委託料 162 千円、備品購入費 150 千円、その他 110 千円	
②北海道移住促進協議会負担金	50 千円
③地域おこし協力隊経費	3,776 千円
隊員人件費 1,992 千円、隊員旅費 164 千円、社会保険料 334 千円、 建物等借上料 1,223 千円、その他 63 千円	
④移住定住情報発信事業経費	350 千円
本気の移住相談会および暮らし相談会出展事業 350 千円	
合 計	6,362 千円

## ▼情報宣伝活動について

平成 28 年度から出展している「本気の移住相談会」への出展などを通して移住希望者と直接顔を合わせ砂川市の PR を実施するほか、市ホームページやフェイスブックなどの各 Web 媒体を活用し、砂川市の移住支援策や市内企業情報、冬期の生活に関する情報などの発信を行います。

### ○本気の移住相談会への出展・自主事業「暮らし相談会」の開催

東京で開催される「本気の移住相談会」に引き続き出展し、移住支援施策や各種制度、仕事や住宅に関する情報を効果的に案内することで、来場者に対して直接砂川市を PR します。来場者には「すながわ情報メール」の登録や Facebook の閲覧を積極的に呼びかけ、こちらからアプローチできるような体制づくりを目指します。

また、「本気の移住相談会」の出展にあわせ、北海道全体の相談窓口であるどさんこ交流テラスにおいて、「暮らし相談会」を昨年度に引き続き開催し、「本気の移住相談会」同様、砂川市の観光や特産品、子育て、医療・福祉、仕事、住宅などの各種支援施策などを総合的に紹介します。

### ○地域おこし協力隊の採用

現在、地域おこし協力隊 1 名を採用し、お試し暮らし利用者の対応全般やお試しハウスの維持管理、Facebook での砂川市に関する情報発信等を行っているところですが、本年 5 月末で任期終了となります。地域おこし協力隊採用後、1 組の移住者を迎えるなど砂川市の移住促進に効果が現われていることから、引き続き、地域おこし協力隊 1 名を採用することとします。

### ○インターネットを活かした情報発信事業

市ホームページ（すながわ移住情報）や移住関連のホームページ（北海道移住促進協議会（NPO 法人住んでみたい北海道推進会議）、（一社）移住・交流推進機構（JOIN）、そらち・デビュー、Domingo など）を活用し、砂川市の魅力を全国へ伝えていきます。また、「すながわ情報メール」と、地域おこし協力隊による Facebook も並行して配信し、道内・道外問わず移住を希望されている方へ砂川の情報を届け、より多くの移住希望者とコンタクトを取ります。

【すながわ情報メール登録者数 H31.3.31 時点 988 名（昨年同月末 879 名）】

【地域おこし協力隊 Facebook フォロワー数 H31.3.31 時点 1,115 名

（昨年同月末 1,004 名）】

### ○北海道移住促進協議会等と連携した PR 活動の実施

北海道移住促進協議会のホームページ及びメールマガジンの活用や、大都市圏でのプロモーション活動時におけるパンフレットの配置などにより、広く砂川市の情報を発信していきます。

#### ○市内企業情報提供事業

平成 30 年度より市内企業の情報を収集し、6月の本気の移住相談会等で来場者に対して情報提供を行ったほか、7月には市ホームページでも情報を掲載しているところです。仕事の情報に関するニーズが依然として高いことから、平成 31 年度も引き続き情報収集・提供を継続していきます。

#### ○冬期移住体験モニター事業

平成 29 年度より、お試しハウスの冬期間の利用促進および積雪地で冬の生活を体験したことの無い移住希望者が持つ不安や抵抗感を解消することを目的に、参加者には各種 Web 媒体を活用した情報発信を通して、砂川市での冬の生活体験の様子を発信していただくといった内容で参加者を募集しています。平成 30 年度に初めて実施がかない、砂川市での冬期の生活に関する PR につながったことから、平成 31 年度も引き続き実施します。

#### ▼受入体制活動について

「すながわ お試し暮らし」は、実際に砂川での生活を体験することで移住後の暮らしをイメージしていただき、移住の決定を後押しする事業です。平成 31 年度においても、お試し暮らし事業を軸とし、利用者に総合的な情報の提供を行います。平成 31 年度は新たに民間中古住宅 1 棟を加える予定とし、計 3 棟の移住体験住宅を活用したお試し暮らし事業を運営していきます。

#### ○移住体験「すながわお試し暮らし」事業

これまで旧医師住宅 1 棟と民間中古住宅 2 棟の計 3 棟を活用してきましたが、平成 30 年 9 月末をもって民間中古住宅「お試しハウスゆうわ」は賃貸借契約が終了となりました。（終了後、砂川市への移住者である児島氏へ売却済）「お試しハウスほっこう」は貸主との協議の結果、平成 31 年度も引き続き継続して活用していくこととなり、また、ゆうわの替わりとなる新たな民間中古住宅 1 棟を加える予定とし、旧医師住宅 1 棟と民間中古住宅 2 棟の計 3 棟で運営していきます。

また、今年から「就業体験付き すながわお試し暮らし」を新たに開始し、現役世代の方をメインターゲットに、砂川市で就労するイメージを持ってもらうことで砂川市への移住促進をさらに図ります。

#### ○住情報提供事業

お試し暮らし利用者からの希望があった際には土地開発公社、宅地建物取引業者などによる分譲地や不動産物件案内、新築住宅相談を実施します。

#### ○短期滞在者用宿泊案内

市内旅館と連携を図りながら短期滞在希望者にも対応し、市内案内・物件案内などのフォローをしながら、観光とは違った視点から砂川のまちを見ていただくことで、移住へのステップアップを図ります。

## ▼生活支援活動について

お試し暮らしの体験者及び移住者が、北海道独特の生活スタイルなどに対し疑問に思ったり困ったりした場合の相談に応じるなど、砂川での暮らしをより充実したものとなるようサポートします。

### ○「お試し暮らし」におけるサポート

お試し暮らしの体験者に対して、市内案内や町内会関係（ルール）等、砂川での暮らし方についての相談に応じます。

## 【協議会（事務局）によるサポート体制】

### ◇市内案内

一人ひとりの意向に沿い、市内の生活利便施設、観光的要素のある公共施設、その他希望する施設を案内します。

### ◇市内等での過ごし方

#### ・各種イベント、市民活動の情報提供

市内各団体や企業、公民館グループ・サークルに協力を求め、砂川の文化芸術に触れていただくほか、イベントなどの各種行事についても随時情報提供を行います。

#### ・滞在中の交流活動

協議会会員を3班に分け、交代で滞在中の体験者との交流を深めます。  
歓迎交流会や市内イベントへの招待など、体験者との交流を通して北海道の生活や砂川の魅力などを紹介し、移住に対する不安の解消を図ります。（別紙）

#### ・その他お客様の要望を伺い対応します。

## 【町内会によるサポート体制】

ゴミステーションの利用など町内で生活する心得や、町内会行事を交流の場として活用したりするほか、近所にお住まいの町内会役員やボランティアなどには日常的な相談相手として、目配り役となっていただきます。

## 平成31年度（2019年度）「すながわ お試し暮らし」実施要領

### 【実施目的】

砂川市に興味や関心を持つ方の、移住へのステップアップを図る。

### 【実施内容】

生活用具を備えた長期滞在が可能な住宅を移住希望者に提供し、砂川市での暮らしを体験していただく。

募集にあたっては、公平性を考慮して当初募集期間を設け、申請書内容を確認の上、抽選により体験者の優先順位を決定し、募集期間を過ぎた段階で、随時予約を受け付けることといたします。

### 【募集期間】

募集期間…平成31年2月18日（月）～3月4日（月）

※募集期間終了後2週間以内に結果通知を送付します。

※募集期間終了後は、随時受付します。（2019年度分に限る）

### 【利用期間】

平成31年（2019年）4月22日（月）～2020年3月31日（火）

※2週間（14日間）以上、2カ月間以内の利用といたします。

（随時募集は1週間から利用可能）

※入居日および退去日については、手続きの都合上、土曜・日曜・祝日を除く平日に  
していただくようお願いいたします。

### 【利用施設の名称】



すながわ お試しハウス（よしの）  
砂川市吉野1条南7丁目2番21号



すながわ お試しハウス（ほっこう）  
砂川市西1条北12丁目1番22号

### 【利用要件】

(1) 将来、砂川市への移住を検討していること

- (2) 家族・親族、単身者の利用であること（単身者については70歳以下であること）
- (3) 4月～10月の期間で1回、11月～3月の期間で1回、計2回までの利用回数であること
- (4) すながわお試し暮らし実施要領の内容に同意し、アンケート調査などに協力できること

### 【体験までの流れ】

- ① 申請書の提出  
（動機、希望の移住時期、移住後の希望住居形態などの移住の真剣度合を把握）
- ② 利用決定（却下）通知書を郵送
- ③ 申込書の提出（入退去日時、フェリーや寝具リースの利用の有無などの詳細を確認）
- ④ 確認書を郵送、受付確定
- ⑤ 砂川市に到着後、契約締結、使用料を前納し、体験開始

### 【費用負担】

- ・ 使用料 1か月 30千円（よしの）／50千円（ほっこう）とし、1か月に満たない場合は、日割り計算とする
- ・ 自宅から砂川市までの往復旅費（商船三井フェリー、津軽海峡フェリーによる割引の利用可）
- ・ 滞在期間中の光熱水費、寝具リース料
- ・ 利用者の故意または過失により、施設・施設設備・備品等を毀損、汚損、滅失させた際の修繕費用および原状回復にかかる費用
- ・ その他、食費や日用品に係る費用

### 【その他】

- ・ インターネット環境：なし
- ・ 固定電話はありませんので、滞在中連絡が取れるよう、ご自身の携帯電話を必ずお持ちください。
- ・ 利用申請書・申込書に記載した利用者以外の宿泊は禁止しています。

### 【周知・募集方法について】

- ・ 市ホームページ
- ・ すながわ情報メール
- ・ 地域おこし協力隊 Facebook
- ・ 近年における本気の移住相談会及び自主事業等来場者への案内（29名）
- ・ 事前に問い合わせがあった方への案内（8名）
- ・ 北海道で暮らそう！メールマガジン（北海道移住協議会）に掲載依頼
- ・ 北の大地への移住情報メールマガジン（北海道総合政策部）に掲載依頼
- ・ 各種ホームページへの掲載



## 2019年度「就業体験付き すながわお試し暮らし」 実施要領（案）

### 【実施目的】

移住を検討する上で重要なポイントである「仕事」について、利用者に就業体験を通して、砂川市で就労するイメージを持っていただくことで、砂川市への移住のステップアップを図る。

### 【実施内容】

就業体験を組み込んだ「すながわ お試し暮らし」を実施する。就業体験先については、申込み時に利用者本人が選択し、利用者は砂川市に滞在している期間のうち、数日間の就業体験を行う。就業体験以外にも、通常のお試し暮らし同様、市内案内や交流会も実施する。

### 【募集期間】

2019年6月～随時受付

### 【利用期間】

2019年9月～2020年2月末までの期間のうち、1週間～2週間程度

### 【利用施設の名称】 ※空き状況により決定



すながわ お試しハウス（よしの）  
砂川市吉野1条南7丁目2番21号



すながわ お試しハウス（ほっこう）  
砂川市西1条北12丁目1番22号

### 【利用要件】

- (1) 将来、砂川市への移住を検討されていること
- (2) 家族・親族、単身者の利用であること
- (3) 本事業の実施要領の内容に同意し、終了後の報告会やアンケート調査に協力できること

## 【就業体験】

### (1)就業体験日数

就業体験先と調整の上、基本的には1週間滞在の場合3～4日、2週間滞在の場合7～8日程度とする。

### (2)就業体験先

市内企業に受け入れについて呼びかけをし、就業体験先企業を決定する。

## 【実施までの流れ】

通常のお試し暮らしと同様の申し込み方法とする。

- (1) 移住担当窓口にお試しハウスの空き状況を確認
- (2) 利用申請書の提出（郵送、メール、FAXいずれかの方法により提出）
- (3) 就業体験先企業と事前協議
- (4) 利用決定（許可）通知書の送付
- (5) 利用申込書の提出（郵送、メール、FAXいずれかの方法により提出）
- (6) 利用申込確認書の送付
- (7) 来砂、契約書の締結、オリエンテーション
- (8) 「就業体験付き すながわお試し暮らし」開始

## 【費用負担】（自己負担分）

- ・ 自宅から砂川市までの往復旅費、市内での交通費
- ・ 滞在期間中における水道・電気・ガス・灯油代
- ・ 国内旅行保険加入費用
- ・ その他、食費や日用品に係る費用

## 【周知・募集方法について】

- ・ 市ホームページ
- ・ すながわ情報メール
- ・ 地域おこし協力隊 Facebook
- ・ 本気の移住相談会及び自主事業等来場者への案内
- ・ 砂川観光協会HP（すながわトリップ）に掲載依頼
- ・ 北海道で暮らしそう！メールマガジン（北海道移住協議会）に掲載依頼
- ・ 北の大地への移住情報メールマガジン（北海道総合政策部地域創生局地域戦略課）に掲載依頼
- ・ 各種ホームページへの掲載

## 2019年度「『すながわ お試し暮らし』冬期移住体験モニター事業」実施要領(案)

### 【実施目的】

お試しハウスの冬期間の利用促進を図る他、積雪地での冬の生活を体験したことのない移住希望者が持つ不安や抵抗感をSNS等における情報発信によって解消し、移住へのステップアップを図る。

### 【実施内容】

「すながわ お試し暮らし」事業の一環として、移住に関心がある積雪地での冬期生活未経験者を対象に、1月～2月を実施期間とし、お試しハウスの家賃を無料としたなかで冬期移住体験モニターを募集する。モニターには、砂川市での生活体験をSNS（Facebook、Instagram、Twitterなど）を通して情報発信をしてもらい、移住希望者における冬期生活に関わる情報不足を解消することで、積雪地での生活不安やマイナスイメージの軽減を図る。

### 【利用期間】

2020年1月15日（水）～2020年2月28日（金）のうち、1週間以上1カ月以内

### 【利用施設】

移住体験住宅「すながわお試しハウス」

※空き状況によってご利用いただく住宅を決定します。

### 【モニターの要件】

- (1) 北海道（砂川市を含む積雪地）の冬の生活に興味があること
  - (2) SNS（Facebook、Instagram、Twitterなど）を通じて、体験した内容等を情報発信できること。なお、発信範囲は特定の制限をかけることなく、一般公開とすること。
  - (3) 事業の趣旨に賛同し、砂川市の広報活動に協力できること
  - (4) 過去に積雪地での冬期間の長期生活を経験したことがないこと
- ※家族・親族、単身者に限らず、友人同士などグループとしての利用も可とする。

### 【選定～実施の流れ】

- (1) 砂川市HPの応募フォームによる申込  
（氏名、住所、使用しているWeb媒体、発信したい内容等）
- (2) すながわ移住定住促進協議会事務局で書類、ヒアリング等により選定を行う。
- (3) 結果通知書を送付する。
- (4) 発信内容等についての事前打ち合わせを行う。
- (5) 砂川市に到着後、建物貸付契約及びモニター事業についての覚書を交わし、情報発

信事業を開始する。

(6) 期間終了後、実績を報告してもらう（閲覧数、リーチ数等）

**【費用負担】（自己負担分）**

- ・滞在期間中のポケットWi-Fi通信料以外の情報発信に要する経費
- ・滞在期間中の光熱水費
- ・体験者の過失により生じた施設・備品等の損害額
- ・その他、食費や日用品に係る費用

**【周知・募集方法について】**

- ・市ホームページ
- ・すながわ情報メール
- ・地域おこし協力隊 Facebook
- ・本気の移住相談会及び自主事業等来場者への案内
- ・砂川観光協会HP（すながわトリップ）に掲載依頼
- ・北海道で暮らそう！メールマガジン（北海道移住協議会）に掲載依頼
- ・北の大地への移住情報メールマガジン（北海道総合政策部地域創生局地域戦略課）  
に掲載依頼
- ・各種ホームページへの掲載

## ○交流活動における班体制（予定）

1班	2班	3班
齊藤 邦宏	北谷 武文	池内 一也
多比良 和伸	岡本 昌昭	佐藤 大将
住 亮太郎	田村 英規	山下 克己
澤崎 賢司	小田 繁喜	田中 聡秀
奥山 一枝	金丸 秀樹	野田 勉
為国 修一	渋谷 正人	青野 英樹
奥山 雅喜	事務局	中村 洋
事務局		事務局

## ○平成31年度（2019年度） お試し暮らし体験者一覧と交流活動対応班（仮）

(H31.4.1現在)

番号	名 前	住 所	期 間	入居予定住宅	対 応
1	S様夫妻	大阪府貝塚市	6/3~6/28	ほっこう	1班
2	I様夫妻	熊本県熊本市	7/1~7/18	よしの	2班
3	Y様夫妻	滋賀県大津市	7/3~7/19	ほっこう	3班
4	M様ご家族	神奈川県川崎市	7/24~8/8	ほっこう	1班
5	M様夫妻	東京都中野区	8/1~8/20	よしの	2班
6	O様夫妻	鹿児島県始良市	8/14~9/9	ほっこう	3班
7	K様夫妻	千葉県印西市	9/2~9/13	よしの	1班
8	G様ご家族	東京都板橋区	9/19~10/3	ほっこう	2班

※ 今後、体験者の入居日については変更の可能性もありますのでご了承ください。